



環境ポスター конкурール 受賞者インタビュー

令和5年度の伊賀市環境ポスター конкурールに多くの小中学生からの応募がありました。環境保全市民会議では、応募作品の中から、「環境保全市民会議賞」として、小中学生を一人ずつ表彰しました。

今回、「環境保全市民会議賞」を受賞した城東中学校の西口葉音さんと成和東小学校の池澤奈花さんにインタビューをしました。

「知っていますか地球の状況」

城東中学校1年生

西口葉音さん



●なぜこのポスターを描いたのか
テレビで、「地球温暖化」の問題が放送されていました。西口さんは、地球温暖化を止めるために自分たちができることをポスターに描いたそうですね。自分の体験から環境について話していくされました。

●伊賀市の環境についてどう思いました。その中で森林の伐採の問題など、人間や自然の命が危険にさらされていることを知り、環境問題を多くの人に知ってもらいたいと思つて作成しました。

●市民の皆さんに伝えたいこと
自分がぐちゃぐちゃになってしまって、死んでしまうことがあります。それがくじらやウミガメなどの動物が海に浮かんでいるゴミを工サと間違えて食べてしまつて、死んでいます。伊賀市は、海が近くにあります。ですから、大坂湾に流れています。ですが、不法投棄が近づいています。それが木津川を流れています。ですから、大

「マイバッグでゴミをへらそう」

成和東小学校3年生

池澤奈花さん



●なぜこのポスターを描いたのか
夏休みの課題でいろいろなテーマのポスターがありました。が、環境を守るというテーマは、自然を大切にすることや自分の暮らしの中

●伊賀市の環境についてどう思いました。私の住んでいるところは田んぼが多く、ため池があるなど自然がたくさんあると思います。そして、近所の人たちが、田んぼや池の周りを草刈りや掃除をしてきれいにしてくれています。それで、私の家の周りはとてもきれいです。とても三つあります。一つは、ポスターで描いたように、マイバッグをもつて

●伊賀市の環境についてどう思いました。私が引っこ抜いてきたところは、田んぼで、ご近所の皆さんが家の周りをきれいにしているのを見て、自然の美しさを感じたそうです。

●市民の皆さんに伝えたいこと
伊賀市に住んで、草刈りや池の掃除をしてくれている近所の人をよく見かけます。また、草花や果物の木などを育てている人が多いと聞きました。自分たちの住んでいたりや動物にとって、とてもいいことがあります。私は今住んでいます。我が家で、鳥たちや動物にとて、とてもいいところが好きです。いつまでも思ひでいてほしいから、私も環境のためにできることを少しずつ増やしていくのです。

あなたの参加をお待ちしています。お問い合わせは…

伊賀市環境保全市民会議事務局

〒518-8501 伊賀市四十九町3184番地

TEL 22-9624 FAX 22-9641

発行責任者：伊賀市環境保全市民会議

※本誌バックナンバーが若干残っています。
ご希望の方はご来庁ください、84円切手を貼った返信用封筒を同封のうえ、事務局までお送り下さい。

伊賀市環境保全市民会議

しぜん

No.81

令和6年(2024年)3月1日発行

豊かな恵みのなかで、
人と自然が共生するまち伊賀

回覧

第2回環境ウォッチング

森林公園でバードウォッチング



2月4日(日)、上野森林公園で「第2回環境ウォッチング」のバードウォッチングを行いました。

昨年度も計画していたのですが、雪のために中止になりました。今年は午前中の雪の予報が曇りとなり、時折薄日のさす絶好のバードウォッチング日和となりました。定員ちょうどの20人が参加して、双眼鏡を手に森林公園内を散策しました。

まず森林公園には、松ヶ谷池があり、カモなどの水鳥がたくさん浮かんでいました。私たちが近づくと、池の中に集まってくれてその姿をきれいに見せてくれました。また、森林にすむ小鳥の声に耳をすましたり、こづえのすきまから見えかくれする姿を双眼鏡で追つたりしました。

講師を務めてくれた武田恵世さん(伊賀のレッドデータブック編集委員長)によると今回発見できたのは、下記のマガモなどの26種類でした。

鳥たちは身近なところに必ずいます。きっと日々鳥を1羽も見ない日はないのではないか。こういう機会だけではなく、ふだんから、鳥を探してみませんか。そして、自然のすばらしさを感じてみましょう。



マガモ

◆当日発見できた鳥たち

マガモ・オカヨシガモ・キンクロハジロ・ホシハジロ・ヒドリガモ・ハシビロガモ・カルガモ・コガモ・カワウ・エナガ・シジュウカラ・ヤマガラ・コゲラ・メジロ・アトリ・トビ・ミサゴ・アオサギ・ハシボソガラス・キジバト・ドバト・ヒヨドリ

◆声のみ確認できた鳥たち

ツグミ・シロハラ・ウグイス・ビンズイ



キンクロハジロ

第1回環境セミナーでマイクロプラスチックについて学びました



11月4日(土)午後1時30分から上野東部地区市民センターで環境セミナーを開催しました。講師は、四日市大学の千葉 賢先生で「マイクロプラスチックによる海洋汚染」というテーマで講演していただきました。

これまで、私たちは海洋ゴミの問題にも取り組んできましたが、今回のお話は、農薬のコーティング剤が解けずに排水路から川に流れ出し、海岸に大量にたまっているという問題で、今まであまり聞けなかった問題でした。農薬については、無意識に使用されている現実があるようです。地域によっては規制を行っているところもあるようですが、少ないので現実ではないでしょうか。参加者からはアンケートで「海洋汚染」というとあまり私たちには関係ないと思っていましたが、いろいろな原因が伊賀の中にも潜んでいることがわかりました。」という意見をいただいています。

今後も、様々な環境問題について正しく知ることを大切にていきたいと思います。



第1回クリーンウォーキングを行いました



12月3日(日)上野公園の北にある白鳳通りで本年度1回目のクリーンウォーキングを行いました。

この日は、日曜日で企業会員が参加しにくく、これまでにないほど少人数でしたが、午前9時から、1時間程度のウォーキングで、道端のゴミを拾っていきました。白鳳通りはポイ捨て等のゴミは少なく、日常的に捨てる人が少ないとの地域の皆様の清掃作業がなされていることが感じられました。



参加者は11人、集めたごみは45kgのゴミ袋で3袋でした。ご参加いただいたみなさんお疲れさまでした。

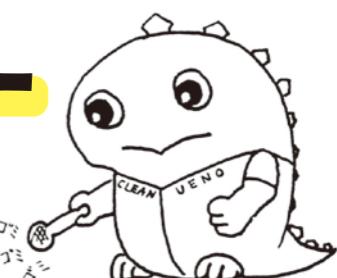
レッドデータブックの改訂作業が始まっています

前号の「しぜん」でお知らせしましたが、18年前に私たち伊賀市環境保全市民会議で「伊賀のレッドデータブック(全242ページ オールカラー)」を発行しました。その後、調査を進めてきましたが、この度改訂版を発行する予定となりました。

18年前に作成した「伊賀のレッドデータブック」の残部が、若干あります。お子様の自然観察にも使えるように写真を大きく掲載していますので、興味のある方は、事務局までお問い合わせください。書店には置いておりませんので、皆様のお問い合わせをお待ちしています。1冊1000円です。



ごみのゴミインタビュー



みなさん、お久しぶりです。私の記憶が正しければ、18年ぶりになると思います。

18年も冬眠していた間に、伊賀市のゴミの処理の仕方についてはずいぶん変わりました。

そこで、さくらリサイクルセンターに行って、葛原所長さんや担当の山本さんにお話をうかがいました。

ごみら 伊賀市のゴミの処理の方法はずいぶん変わった、分別の種類が増えてきましたね。かなりリサイクルが進んでいるのではないでしょうか。

葛原所長 分別の方法は確かに細かくなって、リサイクルは進んでいると思いますが、分別の中で、問題も起こっています。

山本さん 例えば、容器包装プラスチックは、リサイクルするために手作業で確認と、より精度の高い分別をしています。しかし、いろいろな種類のゴミが混じっていて分けるのが大変です。また、汚れたままの容器がそのまま入っていると、その容器はせっかく分けて出してくれてもリサイクルできません。水で軽くすすいで汚れが落ちるものをして下さい。

ごみら また、容器包装プラスチックはどれなのかわかりづらいです。固いとか柔らかいとか言われても…。

葛原所長 そうですね。一番わかりやすいのが、プラスチックというマークがついているものは、容器包装プラスチックとして分けてください。

ごみら なるほど、それだと子どもでも分けることができます。



山本さん それから、最近、全国の清掃工場で、リチウムイオン電池による火災が問題になっています。小型の家電製品やおもちゃなどにも含まれて

います。これらの分別方法を誤ると火災につながる危険性があります。リチウムイオン電池は強い衝撃を受けると発火する恐れがあります。金属ごみに混ざって破碎機に入ると、その衝撃で発火することがあります。さくらリサイクルセンターでもリチウムイオン電池に伴う発火が年間数件ありますが、自動散水設備で対応し、火災に至ることはありません。ただ、大きな不安点になっています。

よく金属ゴミに入れられるリチウムイオン電池を使う電化製品



ごみら 最後に、何か市民の皆さんに伝えたいことがありますか。

山本さん リチウムイオン電池ですが、小型の電化製品は、市役所や市民センターに回収ボックスを置いてありますので、ぜひご活用ください。製品ではなく、リチウムイオン電池だけの場合、販売店に相談していただくか、さくらリサイクルセンターの窓口でお預かりします。よろしくお願いします。

ごみら ありがとうございました。

*イラストは日本容器包装リサイクル協会の素材を使用しています



ごみ分別の一冊メモ

「伊賀市ゴミ分別アプリ」

各家庭には、分類のガイドブックが配られていますが、収集カレンダーやごみ分別辞典などごみを出す際に必要な情報がアプリになっています。QRコードからダウンロードしてみてください。

iPhone(アイフォン) Android(アンドロイド)



*対応バージョン:iOS 5.1.1以降 Android 2.3以降